

# 財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 豊見城市

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
4,961	3,481	454	8,896

## 1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	18,431	17,904	527	440	21	12,326	
育英会特別会計	11	10	0	0	0	0	
土地区画整理事業特別会計(宅地除く)	6	156	150	155	158	766	
住宅地区改良事業特別会計	2,736	2,804	68	68	76	2,016	
一般会計等	21,184	20,875	309	217		15,107	

## 2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業会計	1,274	1,200	74	1,137	3	2,322	5	法適用
下水道事業特別会計	1,038	1,021	17	17	171	4,736	2,577	
農業集落排水事業特別会計	18	17	1	1	15	117	97	
土地区画整理事業特別会計	1,734	1,694	39	0	163	930	531	
国民健康保険特別会計	5,866	5,860	6	6	685	0	0	
老人保健特別会計	2,785	2,806	21	21	231	0	0	
公営企業会計等 計				1,140		8,105	3,210	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。  
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては「総収益」、「総費用」、「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」、「歳出」、「形式収支」を表示している。  
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数( - )で表示している。  
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

## 3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
糸満市・豊見城市清掃施設組合 一般会計	1,461	1,441	20	20	0	3,359	1,639	
沖縄県市町村総合事務組合 一般会計	12,072	12,047	25	25	1,252	36	0	
南部広域行政組合 一般会計	241	163	78	78	3	0	0	
南部広域市町村圏事務組合 一般会計	85	80	5	5	3	0	0	
南部広域市町村圏事務組合 ふるさと市町村圏基金特別会 計	21	17	3	3	0	0	0	
南部広域市町村圏事務組合 いなせ斎苑特別会計	195	161	34	34	0	288	0	
沖縄県介護保険広域連合 一般会計	859	793	66	66	0	0	0	
沖縄県介護保険広域連合 特別会計	19,909	19,606	303	303	0	0	0	
沖縄県後期高齢者医療広域連合 一般会計	984	805	179	179	0	0	0	
一部事務組合等 計				711		3,683	1,639	

## 4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体か らの出資金	当該団体か らの補助金	当該団体か らの貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
地方公社・第三セクター等 計									

- (注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

## 5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度	平成19年度	差引 B-A
	A	B	
財政調整基金		603	
減債基金		423	
その他充当可能基金		1,067	
充当可能基金 計		2,093	

- (注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

## 6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度	平成19年度	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度	平成19年度	差引 B-A
	A	B					A	B	
実質赤字比率	4.10	2.43	1.67	13.54	20.00	水道事業会計		89.3	
連結実質赤字比率		15.25		18.54	40.00	下水道事業特別会計		6.6	
実質公債費比率	15.5	15.5	0.0	25.0	35.0	農業集落排水事業特別会計		26.1	
将来負担比率		105.1		350.0		土地区画整理事業特別会計		0.0	
財政力指数	0.50	0.51	0.01						
経常収支比率	89.5	88.5	1.0						

- (注) 1. 「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「資金不足比率」は負数( - )で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。  
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。